



東京都
(医)明翔会
いしかわ歯科医院

芳賀 浩昭
先生

今回のアイテム

マックスセムエリート

オールセラミックス修復に必須の接着性レジンセメント

患者の審美的要求は年々高まり、前歯部はもちろん臼歯部においても天然歯に似た色調、光の透過性を有する補綴物が好まれるようになってきた。そのため我々の日常臨床においても、従来のセラモメタルクラウンに加えてオールセラミックスクラウンを選択する機会が増えている。



1. 装着前の支台歯。失活歯と生活歯が混在している症例。



2. 左下4番はe-max、567番のブリッジはジルコニアを用いて製作



3. 4番のe-maxはマックスセムエリートのイエローにて、ブリッジはクリアにて装着
技工担当：瀧澤盛史

オールセラミックス修復に接着性レジンセメントは必須だが、歯面処理や補綴物に応じた表面処理が煩雑という一面もある。

Kerr社のマックスセムエリートはセルフエッチング・セルフアドヒーズタイプ of 接着性レジンセメントで歯質、補綴物への前処理が不要

である。しかもジルコニアとゴールドに対する接着強度は、エナメル質や象牙質以上と十分臨床に耐えうるものとなっている。

合着後、仮重合を行うと本セメントは一塊として除去が可能で、歯肉縁下の余剰セメントの取り残しを防ぐ事ができる。そのため、当院ではこのセ

メントをe-maxクラウンやインレー、ジルコニアのブリッジはもちろん、セラモメタルクラウンの合着の際にも使用している。

本セメントは高い接着性能と優れた操作性、カラーバリエーションの豊富さが特徴のオールセラミックス修復には必須の接着性レジンセメントといえる。